

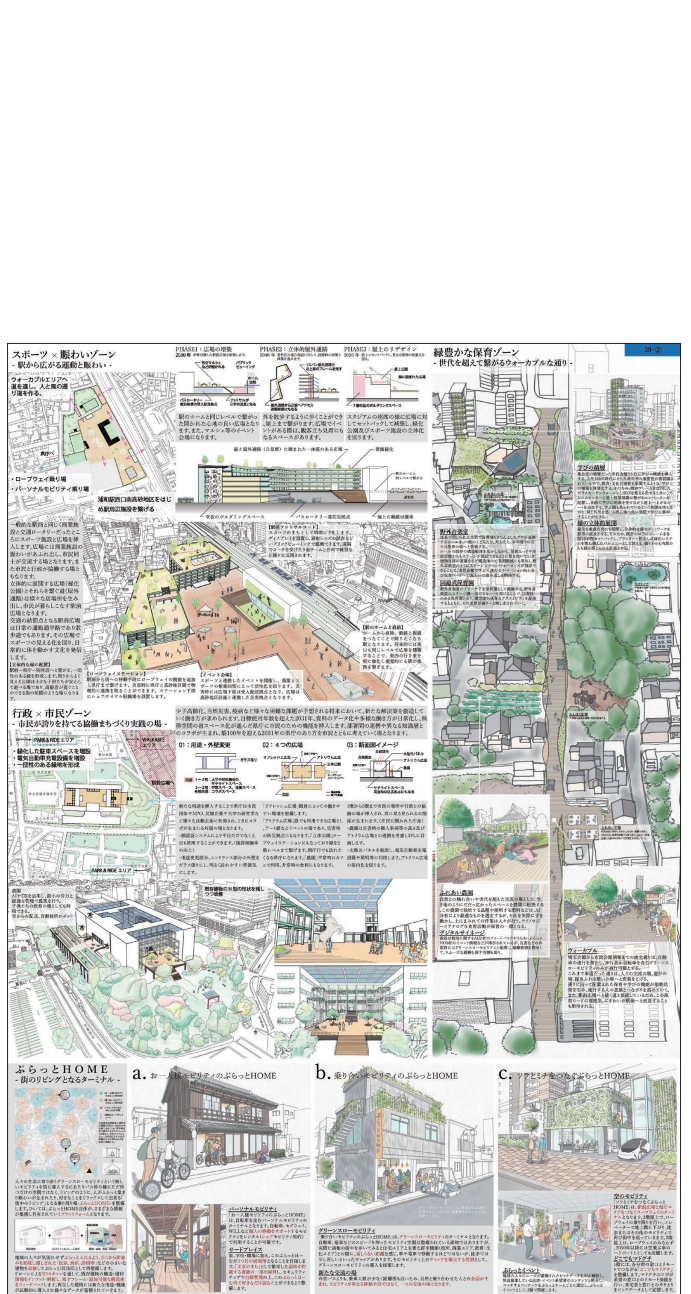
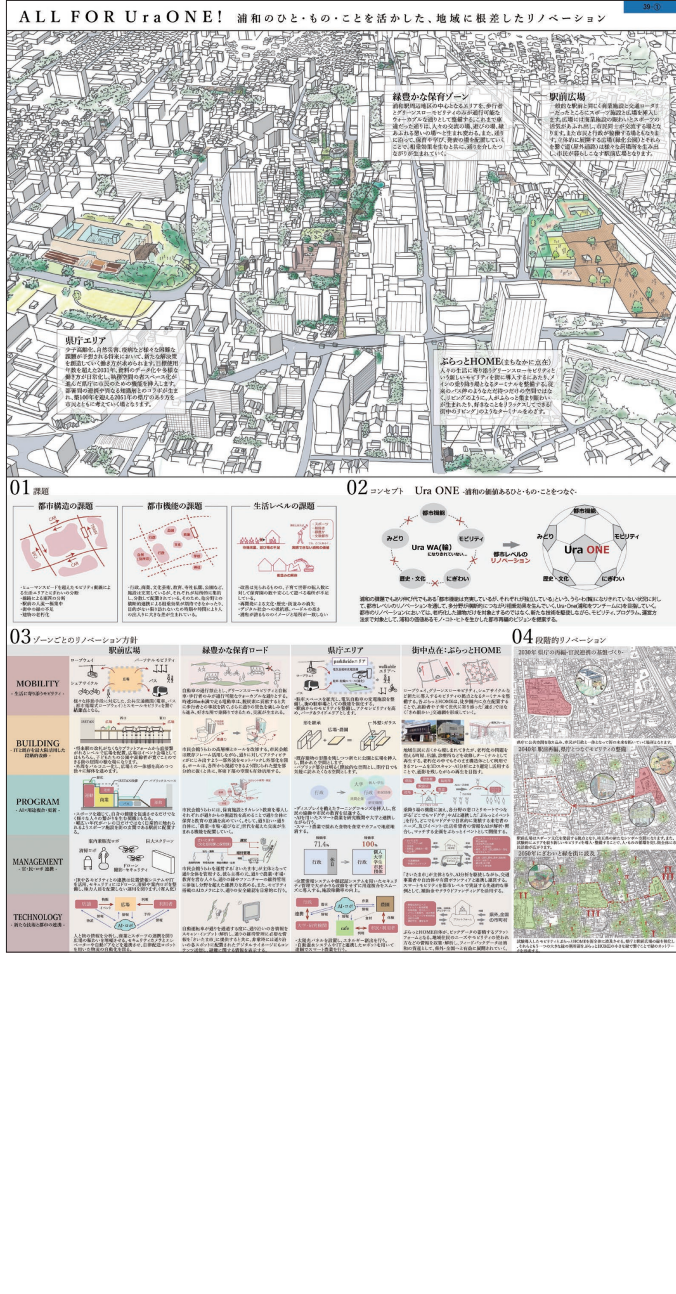
奨励賞

ALL FOR UraONE!

～浦和のひと・もの・ことを活かした、地域に根差したリノベーション～

受賞者

志波 湧志 / 川島 快 [清水建設 株式会社]



審査講評

- 都市の有する課題を「構造」「機能」「生活」のレベルから提示し、「Ura ONE」というコンセプトのもとに、リノベーション方針を提示していることは、大変わかりやすい都市デザイン。特に、「緑豊かな保育ゾーン」に焦点を当てて、詳述している点が、他の案にはみられないユニークな提案内容と評価。
- 「緑豊かな保育ゾーン」の南北軸はイメージ豊かで楽しい生活のイメージが湧く作品。
- AI やモビリティなど新しい技術を活用して、設定したゾーン毎にリノベーションの手法を具体的に提案している内容。都市軸としての玉蔵院通りに着目した提案内容。
- 地区内に複数の提案を展開している案だが、「緑豊かな保育ゾーン」と「駅南広場」にもう少し共通のコンセプトが含まれていると、よりわかりやすくなったと考える。

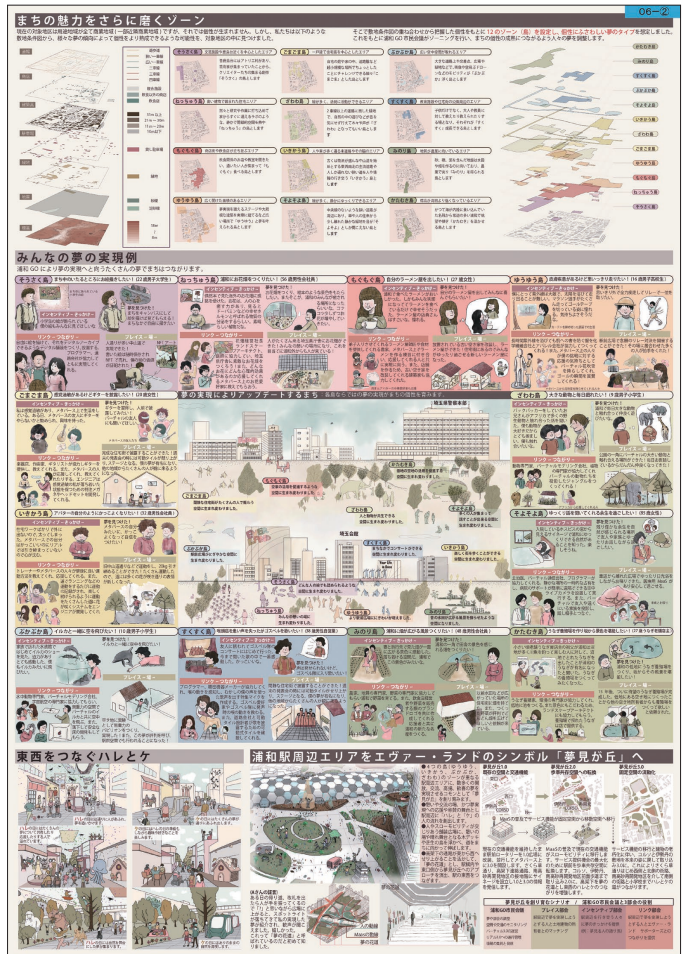
奨励賞

Ever Land - 夢を叶えるまち浦和 -

受賞者

大田 詩織 / 金川 大倫 [滋賀県立大学大学院 環境科学研究科 環境計画学専攻]

大家 成葉 / 権藤 友菜 / 松田 杏奈 / 山内 祥平 [滋賀県立大学 環境科学部 環境建築デザイン学科]



審査講評

- この難しい課題に対し、いかにも若い方のセンス、興味、アプローチで、提案者の想いがこもった提案で、それが物量的にも充実していることに目を見張った。極めて今日的な提案で、時代の変化を表している。惜しむらくは、今少し落ち着いた色調で表現された方が一層引き立ったのではないかなと思う。
- 一幅の絵をみるように、「夢を叶えるまち浦和」が描かれている。「みんなの夢の実現例」が示されていて、多様な可能性をイメージできるが、これらの現象をふまえて都市デザインへと昇華させる道筋を示すことを期待したい。
- プログラムを重視した「コト」おこしを行うことから始める都市デザイン、という新しい世代のアプローチがよく表現されている。「インセンティブ」「リンク」「プレイス」という提案は、わかりやすいが、浦和ならではのプレイスメイキングに持ち込むための工夫、空間の提案があれば、さらに具体的になると思われる。
- 夢を叶えるというコンセプトや市民会議による運営・しくみがしっかりと伝わる作品。ミクロなエリアの特性を生かし、多様性のある夢の実現を提案している。本課題の要求であるゾーン設定や駅前広場のデザインがより具体化されることを期待する。

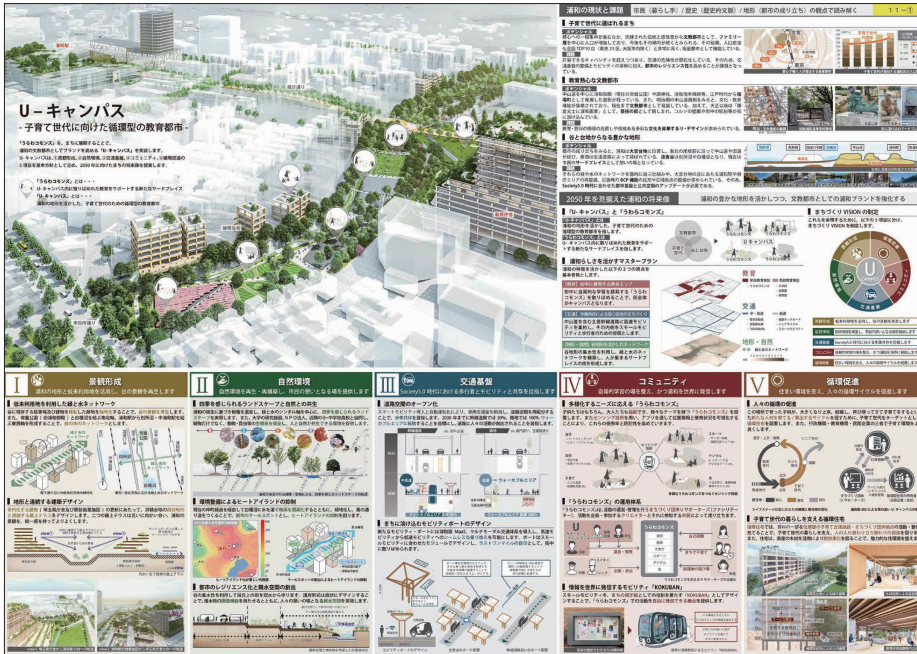
さいたま市長特別賞

U-キャンパス - 子育て世代に向けた循環型の教育都市 -

受賞者

田中 勇氣 / レタンロン / 櫻本 敦士 / 渡邊 祐大 / 大井 彩有里 / 小谷 春花 / 山本 雄一 / 橋元 一成

[戸田建設 株式会社]



審査講評

まちの特性を的確に捉え、将来像に反映したコンセプトは明確でインパクトがある。この作品では、教育、交通、地形・自然の基本骨格を融合させた空間の提案により、標準装備と個性特出の都市性能を実現するイメージが表現されており、かつ創造革新につながる大胆なデザインである。

「どこか高いところから浦和を眺めたくて、県庁の屋上を思いついた。～略～浦和には樹木が多い。自惚れて言えば、森の都と言っていいかもしれない。」明治時代に活躍した浦和絵描きを代表する画家高田誠氏の言葉である。昔、浦和には、描きたくなる風景があった。地形を生かして、浦和にとって重要な緑を再生・再構築。また、生まれ育った街を望む場が設けられており、浦和のまちを大切にする想いを感じられた。風格ある多彩な文化を昇華するリ・デザインが考えられており、子育て環境や自発的学習の場、ヒートアイランドの抑制やレジリエンス化等といった都市の課題解決を図ろうとする点を高く評価した。(さいたま市)